



立て心よ 行け私よ

No. 7

【問題解決力】 【他者関係力】 【自己更新力】

文責:中村 文成

第35回墨坂祭 For One Purpose～この瞬間にすべてをかけて～

【開祭式 校長先生のお話より】(オープニングの寸劇に、「校長先生のお話」が組み込まれました。想像しながらお読みください)

校長「これはこれは みなさんこんにちは」
オリマー「もしかして、この学校の校長先生ですか？」
校長「そうです。あなた方は、なぜ、ここにきたのですか？」
オリマー「おれたちは、団結というものを探しに来た」
森田「ところで、今、何をやっているのですか？」
校長「今、正に、第35回墨坂祭が開催されるところです。きっと、この墨坂祭で、素晴らしい団結がみられるはずですよ」



ということで、墨坂中のみなさん、おはようございます。いよいよ墨坂祭本番の日がやってきましたね。今、ここにオリマー率いるピクミン達が、この墨坂祭の団結を見に来て来てくれています。今日は、県下各地の多くの中学校で文化祭を開いていますよね。そんな中、この墨坂中にこのオリマー率いるピクミン達が「団結の姿を見るために」墨坂中を選んでやってきてくれたということは、非常に嬉しいことですよ。

さて、ここまで、実行委員長はじめ、実行委員会のみなさんを中心として、100日前集会を皮切りに、今日、明日の墨坂祭のために全校443名が一致団結して、準備を進めてきてくれました。正に、墨坂中全員で創る墨坂祭ですね。もう準備は整っていますね。

実は、9月にあった会議で、ある小学校の先生から声をかけられました。「墨坂中の校長先生ですよ。もうじき墨坂祭ですよ。100日前集会とか、10日前集会とか今もやっているんですか？」と聞かれたので、「正に、生徒達はバリバリやってくれていますよ」と応えたところ、「実は、私が墨中生の時から、100日前集会とか、10日前集会を始めたんです。」ということでした。どうやら、その先生は、その当時、墨坂中の生徒だったようです。「自分たちが始めたことが、まだ、続いていたんですね」と言いながら、とっても嬉しそうに喜んでいました。この墨坂祭は、こういったみなさんの先輩達が築いてきたものでもあるのです。

さて、今年度の墨坂祭で掲げたメインテーマは、「For One Purpose -この瞬間に全てをかけて-」ですね。みんなが一つの目的に向かって団結して頑張ろうという願いがこめられているんですよ。では、団結する上で、大切なことは何だと思いますか？ 私は、

1つ目は、「自分をひらくこと」(心も体も)
2つ目は、「思いやり」だと思っています。この2つを大事にすることで、団結の力が高まるのではないかと思います。



開祭宣言 全校の期待が高まる瞬間



広島平和学習報告

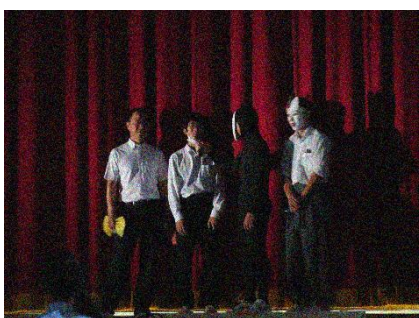
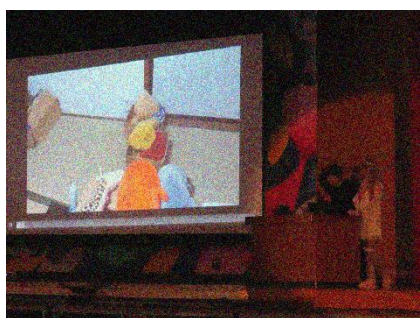
終戦80年を迎えた今年、改めて戦争や原爆について考える機会となりました。

自分をひらいて、新たな自分を見つけ、思いやりを持って友だちのよいところをたくさん見つけられるといいですね。
では最後に、ここに来てくれたオリマーやピクミン達に声が届くように、私が、「今年のスローガンは何だ？」と言うので、「For One Purpose」とみなさんの最高の声で体育館中に響かせてください。では準備はいいですか？ ではいきますよ。
墨坂祭、今年のスローガンはなんだ！（さんはい！）「For One Purpose（全校）！」もう一回行きますか「For One Purpose（全校）!!」Ok です。自分をひらいて、思いやりの気持ちを持ちながら、この瞬間をしっかりと味わいながら、全てをかけて、素晴らしい墨坂祭にしましょう。新たな自分、友だちのよさをたくさん見つけてください。
オリマー ピクミン達、しっかりと墨坂祭の「団結の姿」を見ていってください。私からのあいさつは以上です。



ステージ発表

お笑い、演奏、大道芸、映像&語りと、各グループ趣向を凝らした発表がみられました。



生徒会長の挨拶

いよいよ待ちに待った第35回墨坂祭が始まります。準備を始めてから今日までの約100日間を振り返ると、本当にあっという間でした。

放課後に残って学級旗を仕上げる人、友達と力を合わせてステージバックを作る人、大縄やリレーの練習で仲間と励まし合う人、そして、各クラスが一丸となって合唱練習に取り組み、音楽の授業を終えるたびに、合唱が少しずつ仕上がっていくのを感じました。

その努力の積み重ねがあったからこそ、今日を迎えられたのだと思います。

協力してくれた仲間、支えてくださった先生方、そして地域の皆様に、心から感謝いたします。

そして今年のスローガンは「For One Purpose—この瞬間にすべてをかけて—」。この言葉には、私たち全員がそれぞれの想いを胸に、同じ目標へと進んでいこうという意味が込められています。

この二日間、一人ひとりが主役となり、自分の力を発揮し、仲間とともに最高の墨坂祭を創り上げましょう。

三年生にとっては、最後の墨坂祭です。悔いの残らないように、全力で楽しみましょう。
一・二年生は、その姿をしっかりと受け継ぎ、新たな歴史へとつなげてください。
この二日間が皆さんにとって、忘れられない最高の思い出となることを願っています。
さあ、力を合わせて第35回墨坂祭を盛り上げていきましょう！



美術部の展示

黒と白で表現された切り絵作品も見事でした。



教室展示

教室には、個性あふれる作品が並びました。



パネル展示

原爆パネルをお借りし、展示見学の時間に全校が見学しました。

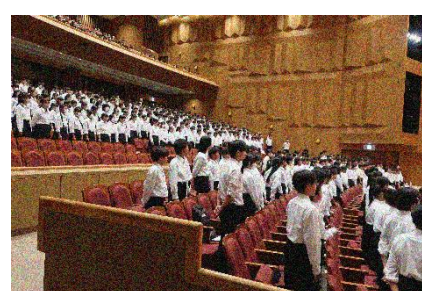


←合唱部発表

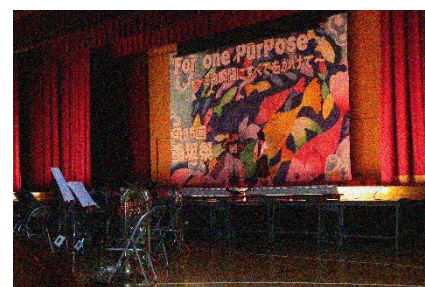
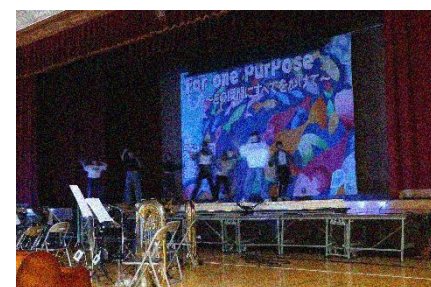
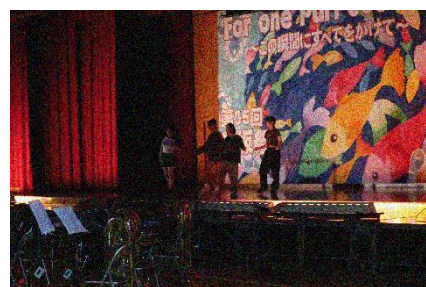
このメンバーによる最後の発表。美しい歌声で音楽会のスタートを飾りました。

全校合唱→

メセナホールに大地讃頌が響き渡りました。



学年合唱 限られた時間のなかで、クラス合唱の練習に並行して学年合唱の練習も積んできました。
どの学年も、素晴らしい歌声でした。



ステージ発表 躍動感あふれるダンスの発表。会場が大いに沸きました。

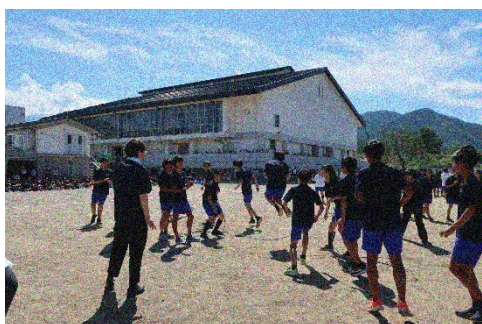


吹奏楽部発表

1年生のダンスにより会場と一体となって盛り上がる曲あり、しっとり聴かせる曲あり、これまでの練習で培った技術を発揮してくれました。



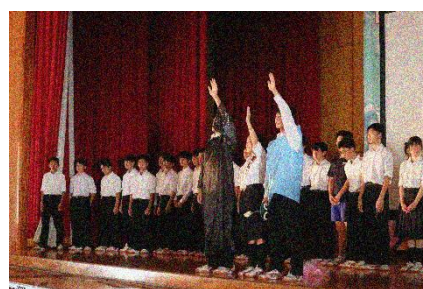
エール交換 競技に先立ち行われました。「おれたちの体に流れる血液の色は何色だ!」「赤—!!!」各学年色にちなんで、士気をあげました。



8の字大縄と

全員リレー

秋を感じさせる青空のもと、みなもてる力を発揮しての競技、応援となりました。



閉祭式 ゲームフェスタと音楽会の表彰、各クラスのパフォーマンス、イメージソング、そして閉祭宣言。墨中生のパワーがおおいに発揮された2日間でした。

まとめ集会

振替休業明けの9月30日(火)の1時間目に、まとめ集会がありました。「ゲームフェスタ、練習ではうまくいかないことが多かったけど、〇〇〇回とべました。」「リレーは4位だったけど、みんなで団結して楽しかったです。」「大縄ではひっかかるだけでとべなかったけど、友達が背中を押してくれた。」「練習ではマイナスの言葉がでてたけど、本番ではみんなでプラスの言葉を言えてよかった」等1、2年生から積極的な発言があり、充実した第35回墨坂祭であったことを改めて感じました。